

9月1日は防災の日

# いま一度、備えの見直しを

9月1日は「防災の日」と定められ、災害について再認識する日と位置付けられています。今年6月には大阪府北部地震が、7月には西日本で記録的な豪雨が発生し、多くの被害をもたらしました。いま一度、一人一人が災害について認識を深め、防災対策の見直しを行いましょ。



災害の時には助け合って

## 災害に対する備え

- 迅速・安全に避難するために、次のような準備をしましょう。
- 携帯ラジオや地図を持ち歩く
  - 懐中電灯・非常食・保存水・常備薬などの非常持ち出し品、歩きやすい運動靴を準備しておく
  - 地域の避難場所や、一時的に利用できる近くの集会所までの避難経路を確認しておく
  - 家族と災害発生時の安否確認の方法や集合場所を話し合っておく
  - 帰宅経路やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドの位置を確認しておく。県が「災害における帰宅困難者支援に関する協

## 災害時の避難行動

「定」を締結している店舗では、可能な範囲で水やトイレが提供されます

### 震災

地震発生時には次のことを心掛けます。

- 棚などの家具類から離れたり、机の下に隠れたりして自分の身を守る
  - 激しい揺れが収まったら、台所やストーブなどの火元を確認する
  - ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉じる
  - 職場や集客施設などの安全な場所にとどまる
  - 災害用伝言サービスにより家族の安否を確かめる
  - 交通・被害情報などを入手する
- 大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。多くの人が一斉に徒歩で帰宅を

始めると、火災や、沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があり、さらには救助・救急活動の妨げとなる場合があります。むやみに移動するのはやめましょ。

### 土砂災害

危険のある場所から離れることで、崖崩れなどの土砂災害から身を守ることができます。崖崩れによる土砂は、斜面の高さの2倍または50メートル離れた距離まで届くといわれています。次のような前兆を発見したら速やかに崖から離れ、危機管理課(☎20・1523)に情報を提供してください。

- 斜面に亀裂ができる
  - 小石が斜面からこぼれ落ちる
  - 斜面から地鳴りが聞こえる
  - 普段澄んでいる湧き水が濁る
  - 斜面から水が吹き出す
- 県と気象庁では、大雨により土砂災害の危険度が高まった際に、土砂災害警戒情報を発表しています。特に崖の近くに住んでいる人は、この情報が発表されたらできる限り早めの避難を心掛け、市から避難勧告などが発令された際には速やかに避難を始めてください。

### 浸水害

浸水害の恐れがある場合は、早

めの避難を心掛けましょう。

激しい雨や浸水、夜間で移動などが危険な場合は、無理をせず、自宅の上の階へ退避してください。

### 災害時の情報収集

市では、防災・災害に関する情報を次の方法で発信しています。

#### 防災行政無線

防災行政無線のスピーカーは市内149カ所に設置されています。聞き逃した場合は、防災行政無線テレホンサービス(☎0120・38・3898)を利用してください。

防災情報ツイッター([https://twitter.com/bousai\\_narita](https://twitter.com/bousai_narita))でも確認できます。

#### なりたメール配信サービス

メールで携帯電話やパソコンへ配信されるため、職場や外出先などでも情報を手ででき、重要な情報の見逃しを防ぐことができます。配信を希望する場合は、あらかじめ利用登録を行ってください。

#### 配信される情報(選択が可能)

- 防災情報
- 天気に関する情報
- 消防情報
- 防犯・安全情報
- 防災行政無線情報

#### 登録方法

下の二次元バーコードを読み取るか、なりたメール配信サービス

登録用アドレス([fon@sgm.jp](mailto:fon@sgm.jp))に空メールを送信し、返信される案内に従ってください。



返信メールが届かない場合、迷惑メール対策の設定がされている場合があります。[sgn.jp]ドメインからのメールを受信するように設定してください。

### 周辺の危険箇所を確認

市では、避難所や土砂災害、浸水、崖崩れの危険がある区域などをまとめた「なりた地図情報」をインターネット上で公開しています。



いざいというときに安全に避難

できるよう、自宅の周辺や通勤・通学路などの危険箇所を確認しておきましょう。

URL=<http://www2.wagana.chi-guide.com/narita/>

### 市が指定する避難先

市が指定する避難先には「指定緊急避難場所」「指定避難所」「自主避難所」の3つがあります。指定緊急避難場所は、災害の危

険から緊急的に避難し、身の安全を守るための場所です。災害の種類別洪水、崖崩れ、地震、大規模な火事、内水氾濫に指定しています。

近くの避難場所がどのような災害に対応しているかは、市ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/anshin/page073600.html>)で確認できます。

指定避難所は、被災した人を一時的に滞在させるための施設です。対象になるのは次のような人です。

- 住居が被災し、居住できない人
- ライフラインの被害により、日常生活が著しく困難な人
- 自主避難所は、次のような場合に市が必要を判断し、一時的に開設する施設です。
- 台風の接近の恐れがある場合
- 長時間の降雨で洪水や土砂災害が発生する恐れがある場合

災害時に避難所で市が支援できることには限界があるため、避難者の必要最低限の生活のために必要なことから優先して対応します。

普段の生活との差をできる限り少なくするために、避難者同士が互いに協力するようお願いします。

※くわしくは危機管理課(☎20・1523)へ。

## 災害用チェックリスト

### 貴重品

- 現金(小銭も)
- 印鑑
- 保険証
- 預金通帳や有価証券の写し
- 本人確認ができる物

### 衣類・洗面道具類

- 下着類
- 靴下
- セーター類
- タオル
- せっけん
- 歯磨き用品
- 紙おむつ
- 生理用品

### 小道具類

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池
- 軍手
- ライター・マッチ
- 栓抜き・缶切り
- ティッシュ・ウェットティッシュ

- 使い捨てカイロ
- 筆記用具
- 雨具
- 救急セット(常備薬も)

### 水・食料品

- 飲料水
- 非常食
- 飲料用ポリタンク

## 避難するときに持っていく物

### 3日分を目安に備蓄しておく物

懐中電灯(できれば1人1個・予備の電池も)、ろうそく、食料、ビニール袋、固形燃料、簡易ガスコンロ、1人1日3リットルの飲料水、ペット用の餌や水

被害が大きいと、行政機関(自治体・消防・警察・自衛隊など)による救援活動も難しくなります。公的支援が受けられるまでのおおむね3日間は、自力で避難生活が送れるよう、あらかじめ準備しておきましょう。